



牧之原市議会議長
中野康子

議員の資質を高め、
市政の課題解決のために
当局と一丸となって取り組む



牧之原市長
杉本基久雄

ポストコロナ時代に
対応した体制を整え
新たなまちづくりを進める

新年おめでとうございます。
市民の皆さまには、それぞれの感
慨や抱負を胸に、新たな年をお迎え
になられたことと存じます。

昨年は、新型コロナウイルス感染
症の対応に追われた1年でありまし
た。3月に国の要請により小中学校
を臨時休校すると、4月には緊急事
態宣言が発令され、夏には海水浴場
の開設を中止するなど、いずれも前
例のない対応を迫られてきました。
年末にかけ、全国的に第3波の感
染が拡大する中で、市内においても
高齢者福祉施設や榛原総合病院にお
いて複数の感染者が確認されました。
地域医療の中枢を担う病院内での感
染拡大に、大きな不安や心配を感じ
られたかと思いますが、医療に従事
されている皆さんも、検査・診療体

制が滞ることのないよう懸命に尽力
してくださっています。どうかご理
解とご支援をお願いいたします。
今は、さらなる感染拡大を防ぐた
めの正念場です。我慢が続きますが、
明けな夜はありません。皆でこの
難局を乗り越えていきましょう。
厳しい状況が続く一方で、明るい
話題もあります。民間のウエーブ
プール施設「静波サーフスタジアム」
が、3月に完成予定です。東京五輪
のホストタウンである本市としても、
大変喜ばしいことであり、スポーツ
振興や沿岸部の活性化に大きな期待
を寄せております。

う努めてまいります。
さらに、市の防災拠点となる「相
良地区放射線防護施設」や、地域の
産業振興、雇用創出、移住定住人口
の拡大を目指す「相良牧之原IC北
側地区の開発」など、戦略的なプロ
ジェクトも確実に前進しております。
コロナを契機に、経済活動や文化
活動が新たな形態へ変化する中で、
行政の在り方や市民生活を取り巻く
環境が、まさに変革期を迎えていま
す。市としても、ポストコロナ時代
に対応した体制を整え、新たなまち
づくりを進めてまいります。
結びに、本年が明るく希望に満ち
た年となりますとともに、市民の皆
さまのご健勝とご多幸を心から祈念
いたしました。新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、
令和3年の新春を健やかに迎え
ることとお喜び申し上げます。また、
日頃から牧之原市議会に對しまして
ご理解ご協力を賜り、心から厚く御
礼申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染
症のまん延により、日常生活におい
てさまざまな不自由さを痛感した1
年でありました。

議員提案による条例制定」などの政策
立案について直接皆さまに報告でき
ず、誠に残念でありました。
この静岡県では、南海トラフ巨大
地震の発生が危惧されています。こ
のたび、駿河海岸細江地区の防潮堤
工事が着工されました。国、県、市
が実施しております防潮堤工事が1
日も早く完了し、沿岸部の皆さまの
安全安心が守られることを祈ってお
ります。
また近年、予想のつかない豪雨や
台風などの自然災害による河川の氾
濫や越水被害が多発しております。
市と市議会では、共に国、県への防
災減災対策の実施を、更に強く要請
してまいります。
多くの皆さまから期待されていま
す東名相良牧之原IC北側の開発に

についても、当局と共に推進してい
ます。教育分野では、10年後を見
据えた学校再編に向けて、子どもた
ちや地域にとって望ましい学校のあ
り方を、議会としてしっかり議論し
ていきます。
市議会といたしましては、市民一
人一人が「住んで良かった」「住み
続けたい」と思っていただけま
ちづくりに向けて、議員の資質を高め、
市政の課題解決のために、当局と一
丸となって取り組むたいと考えてお
ります。
結びに、新型コロナウイルスの1
日も早い終息を願い、令和3年が牧
之原市民の皆さまにとって、明るく
希望に満ちた穏やかな日常生活にな
りますよう心からご祈念申し上げます。
新年のご挨拶といたします。



謹賀新年

2021年 年頭のごあいさつ

初日の出 (さがらサンビーチ)